



# いま

明石市立二見中学校  
第3学年(72回生)学年通信  
2019(令和元)年5月10日  
第177号

## 若者Box

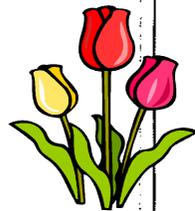
### 新しさとやる気を長続き

新しい物を使う時は、いつもよりやる気が出ます。勉強をする時でも、シャープペンが新しくなると、自主学習をもう少しやろう、という気持ちが湧いてきたりします。しかし、新しく買った物は、汚れて古くなります。だからといって、新しい物をどんどん買うわけにもいきません。

これは、自分が何かにチャレンジする時にも全て同じことが言えます。はじめは熱心に取り組んでいても、続けていると、面倒くさくなる。例えば、習い事で通っていたそろばん。他に、習字、太鼓、水泳、バドミントン。でも、よく考えると、今となってはそれらは、私の得意なことの一つだっただけです。

4月は「新しい月」です。新しい教室に身を置く私はやる気に包まれていることでしょう。半年後にもそう思っている人になりたい。何事も続けること、やりぬくことこそが自分を成長させてくれるのではないかと感じます。

(中学生 洲本市) 14歳



○自分も新しい物を使うときはいつもよりやる気がある気がする。自分がバスケットボールを始めた時も、卓球を始めた時も、最初はめっちゃやる気があった、はやくバスケしたいとか、卓球したいって思ってたけど、2、3ヶ月くらいたって慣れてきたら面倒くさくなって勝手に休んだりしている。でも、この人と同じで、自分が得意と思えることになった。中3になって、4月から受験生やからとみんなに言われるし、自分も「ちゃんとしなあかん。」と思った。だから今のやる気を少なくとも受験の時までは持ち続けたい。

○中学校に入学してきた時「勉強がんばろう！」とか「部活がんばろう！」とか思って入ってきました。1年生の時はやる気に満ちあふれていましたが、2年生になってきたらダルさがありました。そこをどう乗り越えるかが大切なんだと思います。ダルいなあって思っているのはみんな一緒だから、そこから「がんばろう！」って思えたら良いと思いました。ラスト1年もどう過ごすかは自分次第だと思いました。

○新学期の初め、私はライフやノートを丁寧に書いている。しかし、それを続けようとは思っているものの、1週間ほどたてば、テキトーになったり、字が荒くなったりしている。勉強も同じだ。進路の話などを聞いたときには、「頑張らなければいけない。今日から頑張ろう」と意気込むものの、続くのは最初だけ。最初だけを頑張るのではなく、継続させていくことが大切だと思う。おそらく、何事においてもみんな最初は頑張る。その後も頑張れば他の周りの人たちよりも成長できる。最後まで頑張るといことは大変だと思うが、その分達成感を味わうことができる。人があきらめるところでも最後までやり遂げられるような人になりたいと思った。そのためにも小さなことでも継続できるようにしていきたい。

○3年生になって教科書やノート、全てに新しい気持ちが出てきます。でも、時間が経てば何事も古びていくし、いつまでも新しいわけではありません。時間が経って学校生活で気が緩んでいたり、「これくらい、いいか」などの弱い気持ちが出やすくなります。いつまでも新しい気持ちでいられるようにするには、気を緩めないことだと、私は思います。

○私も習いごとに行くときに「行きたくないな。」と後ろ向きな気持ちを持ってしまうことがあります。この記事に書いてあるように、最初は何でも「頑張ろう！」という気持ちで取り組みます。ですが、慣れてきてほしいのことができるようになると、「もうこんなもんでいいか」という少し面倒くさい気持ちや、中途半端な行動で終わらせてしまうことが多くなります。部活動でも、最近1年生の指導をしていて、人にえらそうに言う前に「自分が完璧にできるのか」と考えることが多くなりました。どんなことでも初心を忘れず、いつまでもやる気を失うことなく、前に進めるような人になりたいと思いました。しんどいと思っても、その時が踏ん張り時だと思って、自分を自分で奮い立たせるようになっていきたいです。

○新しい物が古くなって、汚くなってしまいうけど、だからといって私は古い物でもやる気がおきないと思っただけです。友だちが新しいシャープペンを持っていたり、流行ってるものを持って自慢してきても、何年間も使い続けているものの方が使い慣れて落ち着いた感じがして、新しい物では感じたり得たりできないような集中力があったり、大事なテストでも落ち着いて取り組めるような気がします。人の持っている物はよく見えるけど、何年も経って汚れたり絵柄が薄くなっているものには人の持っている新しい物以上に価値があるような気がします。だから今までずっと大切に使ってきた私が初めて手にしたシャープペンこそ、これからも大切にしていこうと思います。

○僕も新しいものを使う時はやる気がでる。特にノートを使う時は、いつも思うけど、だんだん読める字から読めない字に変わっていきます。字をきれいに書くときはやる気があり、字をきれいに書かないときは、やる気が無くなっているのだと思うけど、字をきれいに書き続けると自分にとっての良いところも増えるんだと思った。「何事も続けること。やり抜くことこそが、自分を成長させてくれる」という文に自分もそうだなあ～と思った。

○確かに習い事に長い期間通っていると、最初は自分がやろうとして入ったわけだから、最初は必ずやる気は出ます。だけど、だいたい5、6年くらい通っていると、時々「やりたくない」とか「本当に自分からやると言ったのか？」など、自分がなぜそれを始めたのかさえ分からなくなっていきます。勉強もそうだと思います。勉強は50%才能、50%努力の世界だと思います。理解力がすごく優れた人が才能、凡人の人が努力、そんな世界が見えてくると思っています。「努力は報われる」のではなく、「報われるまで努力をする」が正しいと思います。

○「やりきること」と「やる気」は結構綿密につながっていると思います。やる気があればやりきれないし、無ければだらだらしたり、途中で止めてしまったりします。私はそんなことがよくあります。初めはこのワーク、今日中にやっちゃおう、と意気込んで、少ししたら飽きてきて「めんどくさい」と思うことがあります。でも、この「新しさ」があることでやる気が出る。私はそれを一つの気分転換だと思えるようにして、するべきページがたくさんあるなら、一番最後のところから逆に解いてみたりすることでやる気を保っています。新しいとやる気が出るのは文房具だけではないと思いました。

○新しいものや、新しく何かを始める時に、やる気が出るというのは、とても分かります。新しいものだと一からがんばろうという気持ちになれるけど、それもすぐ慣れてしまい、一から頑張ろうという気持ちになれなくなりました。例えば、1年の頃、頑張ってた家で終わらせていた宿題も、今は明日学校でやればいいやと思ってしまいます。慣れたものをずっと頑張れる、やる気を保てるかどうかはその本人次第だと思うので、僕は3年生で慣れてしまったものこそ頑張りたいとこの記事を読んで思いました。

○この記事に共感できた。何事も初めはとてやる気があっても、それをいつも、そして毎日継続させるのはとても難しいことだと思う。しかし、逆を考えれば、継続できる人というのは、何をやるにしてもうまくいく人だと思う。「初心」や「継続は力なり」など、初めに思ったことを貫き通せる人こそが本物だと思う。自分にはまだまだそこに対して甘い部分がある。これから、部活にしても勉強にしてもすべてのことにあきらめず、取り組み、それを継続していきたいと思う。